

2024春季生活闘争は、わが国の将来を左右する正念場だ。

私たちは、2023闘争で30年ぶりの賃上げ水準を実現した。しかし、デフレマインドを完全に払しょくするには、昨年以上の賃上げを継続していくことが不可欠である。さらに前へ、さらに上へと、進み続けよう。

私たちの暮らしは、厳しさを増している。昨年の賃上げをもってしても、いまだ賃金が物価高に追いついてはいない。人手不足で一人ひとりの負荷が増している。生活の安心・安定をはかり、現場の頑張りに報いて、明日への活力を生み出すには、成果の公正な分配が欠かせない。いまこそ、労働組合は、職場や地域で働く者一人ひとりの生活向上への期待と力を結集し、その役割をしっかりと果たさなければならない。

労働組合には、職場を変える、社会を変える力がある。賃上げを中心とする「人への投資」を起点とした経済の好循環へと、ステージ転換を着実に進めるための闘争が、いよいよスタートする。連合兵庫は、そして連合兵庫に集う仲間が、常にその闘いの先頭に立つ。私たちこそが、未来をつくる主役だ。

新たなステージのもとでわが国の経済社会の好循環と活力を取り戻すことで、能登半島地震で被災した地域の復旧・復興の環境整備、スピードアップにもつなげていく。

連合兵庫は、ここに2024春季生活闘争の開始を宣言する。
みんなで賃上げ。ステージを変えよう!

2024年2月9日

連合兵庫 第4回執行委員会・闘争委員会



連合兵庫 2024
春季生活闘争開始宣言集会